

# なくてはならない 埼玉のカイシャ 2026

日刊工業新聞社  
さいたま総局・川越支局：編



## マストミ電子株式会社

女性中心の工場運営により業績アップ  
—自由に休みがとれる働き方で高品質な製品づくり

代表取締役社長 又吉 達也氏



- ・5Sと工場改装で職場環境を改善
- ・多能工化を進め、急な休みにも対応可能に

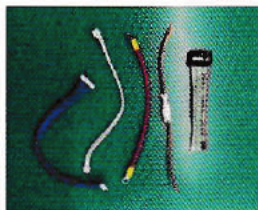
マストミ電子は街路灯やプリンター、ラジコン製品、火災報知器、チップマウンターなどさまざまな分野向けに、ワイヤーハーネス(複数の電線を束にした集合部品)を加工するメーカー。納入先は双葉電子工業、ヤマハ発動機、シチズン精密、能美防災、タミヤ、岩崎電気、富士電機、沖電気など多岐にわたる。

約10年前からは芝浦電子の代理店として、キリンビールやセブン&アイホールディングスなどに温度センサーを販売。2025年7月から大手電機メーカーの配電盤向けに電子部品組み立てを始めた。全社売上高の7割はワイヤーハーネスが占め、温度センサー販売と電子部品組み立てが15%ずつという売上構成だ。

同社の強みは、製造部門の7割以上を占める女性パート社員の活躍を進め、高品質な製品づくりにつなげている点だ。「女性特有の細やかさ、丁寧さが高品質な製品づくりに直結する」と又吉達也社長。約10年前に「女性中心の工場運営」に変え、業績アップを実現した。



緻密な作業が求められる



取り扱い製品の一部



多くの女性従業員が活躍

### シフト制とらず融通の利く勤務を実現

まず「整理・整頓・清掃・清潔・躰」を徹底して職場の課題を解決する「5S活動」を実施し、社員の意識を改革した。続いて工場を改装し、外壁の塗り替えや天井の張替え・照明のLED化、床のフローリング化、洋式洗浄便座型トイレの導入などを進めた。

働き方については、シフト制をとらず、「自由出勤制度」を採用。子どもが急に熱を出したといった、出勤当日に緊急で休みたい場合にも休めるようにしたほか、届け出を出せばいつでも休暇がとれ、勤務時間も自分で設定できる。

自由に休みを取っても品質不良や納期遅れを出さないための仕組みが、女性社員の「多能工化」だ。圧着加工・ハンダ加工・切断加工・検査など、1人が複数の技術を身に着ける取り組みを進め、誰が休んでも代替りの社員で業務が回せるようにした。

「女性は休みが自由に取れるなど、色々な意味で融通が利く会社を求めている」と又吉社長。2026年9月期は2億2,000万円の売上高を見込んでおり、「今後は外部資格の取得など人への投資に力を入れたい」と話した。

#### 会社DATA

設立：1979(昭和54)年11月  
所在地：埼玉県川口市東川口6-19-31  
売上高：約1億8,500万円(2025年9月期)  
従業員数：18名  
事業内容：ワイヤーハーネス・電線加工、電子部品組み立て、温度センサー販売  
URL：<https://www.masutomi-d.co.jp>

